

令和二年度 専修大学附属高等学校入学試験問題

国 語

注意

- 一、試験時間は五十分です。
- 二、問題は一ページから十七ページまでです。
- 三、答えはすべて解答用紙の指定の欄に記入しなさい。
- 四、答えを書きなおすときは、きれいに消してから新しい答えを書きなさい。
- 五、問題用紙も、試験終了後回収します。



これ考えても、ぴったり当てはまる適当な語が見当たらない。だいたいここでいう「時間」は、「時間と空間」とか「時間が経つ」のような抽象的な「時の流れ」をいうのではなく、あくまで本人にとつての「試験終了の時刻」を意味しているにすぎない。これは、司会者が講師に「先生もうお時間です」と書いた紙切れを渡して告げ、講師が話の終わりに「ちょうど時間となりました」と述べる、あの「時間」の使い方と同じで、具体的な話の場面の中での、話者にとって特別の意味を持った「時点」(講演の終了時間)を指示する働きであるといつてよい。この点が「時間」と「時」との違いであるが、面白いことに、これらの文が、いずれも特定の主語「何が」「何が」を想定することの難しい無主語文であるということ、これは話者がその時、心を感じた、ただそれだけの事柄として、「ああ、もう時間だ」と端的に述べた文だからであろう。そのため、使用語彙も、談話の場面と連動して、はなはだ具体的な個別的意味となり、決して辞書にあるような無味乾燥な抽象的概念の意味内容とはなっていないのである。

日本語は諸外国語と違って、「何が」の主語や、「何を」の目的語の略された形が頻出する。時には文法的にそれらを補うことの不可能な場合も多い。今あげた「時間です」もその例外ではないが、たとえば「赤い花なら曼珠沙華」といった文など、**Z**が「赤い花なら」なのか、誰にとつて「曼珠沙華」なのか、さっぱりわからない。もちろん、それだからこのような表現は不資格文だというのではない。これで立派に日本語として通用するし、日本人なら誰一人正しい日本語として疑わない。このことを、どのように解釈したらよいのだろうか。

日本人は、そして、とりもなおさず日本語では、表現に際して、現在の事象である事柄や周囲の状況を、「あ、もう時間だ」とか、「赤い花? それは曼珠沙華だ」と自分自身の目でとらえ心で感じた外界のこととして、聞き手にそのまま投げ掛ける。己を客体化し対象化して、「私は時間を持たない」のような言い方は決してしない。話者はあくまで外の世界を眺めとらえる主体そのものであるから、意識の外にある。もし文の中で「私は……」と主語に立てたら、「私は行きませんよ」のような「他の人はともかく、この私は……」といった対比を取りたてていう意識が表に出される。

つまり、その「私」はもはや言葉<sup>⑧</sup>を発する「己」自身ではなく、「他の人」と同列に並ぶ「素材化した対象」と化している。というわけで、日本語がいちいち「私」を文の中に立てていかないう言語であるということは、話し手が表現を進める「話者の目」として言葉の背後に隠れてしまい、ただその視点を通して対象と対峙<sup>たいじ</sup>している、そのような立場に立つ言語だということである。その点、英語など多くの外国語は、表現を進める自分自身を対象化して述べる性質があるから、文の中でもいちいち「私は……」と主語を立てて述べていくこととなり、たとえば日本語なら、今、己の目に映る「場面」への疑問として単純に「ここはどこ？」と言って済ませるところも、そのつど自身を対象に据えて、「私たちは今どこにいますか」のような言い方をしなければならない。自分らの存在すらも傍観者として眺める、まるで他人事<sup>ひとごと</sup>のような客観的視点しかできないのである。日本語が比較的「私」の現れる率が低いといわれるのも、単に文法的に主語省略の可能な言葉だからという理由よりは、むしろ、自身の視点から対象把握がなされているために、己はあくまで表現者の立場で、わざわざ自身を客体化して文中の主語に立てるといった姿勢が取りにくい、そのような理由によるというほうが正しいであろう。

森田良行『日本人の発想、日本語の表現』（中公新書）

問一 傍線部 a～f に関して、次の各問に答えなさい。

(1) 傍線部 a・b・d のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で答えなさい。

(2) 傍線部 c と最も近い意味の四字熟語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 用意周到      イ 簡潔明瞭      ウ 厚顔無恥      エ 一心不乱      オ 理路整然

(3) 傍線部 e と同じ漢字が用いられている語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 上昇      イ 沸騰      ウ 揭示      エ 列挙      オ 抑揚

(4) 傍線部 f の対義語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 惰性      イ 特別      ウ 奇妙      エ 完璧      オ 原則

問二 傍線部①「辞書の記述や文法規則だけではなかなか思うように解釈できない例」とあるが、この「例」の特徴を説明した語句を、本文中から七字で探し、抜き出して答えなさい。

問三 空欄 X に入る語句として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「降る」状態の起こる以前

イ 「降らない」状態の起こらない以前

ウ 「降らない」状態の起こる以前

エ 「降る」状態の起こらない以前

オ 「降る」可能性の低い以前

問四 傍線部②「先に引いた例」とは、次の部分である。この部分と本文の内容を踏まえ、「日本語」と対照的な言語の特徴を、解答欄に合うように、二十字以内で説明しなさい。ただし、「客体化」・「主語」という語を用いること。

たとえば「もう時間です」と言ったとき、それが何を意味するかは、「もう／時間／です」という言葉の辞書的意味や文法解釈以前の問題で、出掛ける前なら「出発時間」を、試験中なら「終了時間」を指すというように、発話の意味を解釈していかなければならない。「時間です」の主語は何かとか、個々の語の辞書での意味を考えたところで、発話の正しい解釈に至らないのはいうまでもないことである。いふなれば発話の場面を考慮すること、これが日本語では特に肝腎なのである。

問五 空欄Y・Zに入る語を、空欄Yは二字、空欄Zは一字でそれぞれ本文中から探し、抜き出して答えなさい。

問六 傍線部③『時間』と『時』との違い」とあるが、ここでいう「時間」の説明として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 話者にとって、具体的な話の場面の中で現れた時の流れ
- イ 話者にとって、特別な意味を有した、具体的かつ個別的な時点
- ウ 聞き手にとって、具体的な経験に基づいた個別的な時の流れ
- エ 聞き手にとって、無味乾燥であり抽象的な概念が含まれた時点
- オ 具体的に個別的な話題ではあるが、話者にとっては特別な意味がない時の流れ

問七 傍線部④「決して」と同じ種類の副詞を含む一文として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア おそらく電車に間に合わないだろう。

イ 彼女はいつも慌ただしい。

ウ 彼は人前ですぐに赤くなる。

エ 今日はとても寒い日だ。

オ 息子の手をしっかりと握りしめた。

問八 傍線部⑤「時には文法的にそれらを補うことの不可能な場合も多い」とあるが、それはどのような場合か。解答

欄に合うように、本文中から二十二字で探し、抜き出して答えなさい。

問九 傍線部⑥「このことを、どのように解釈したらよいのだろうか」とあるが、本文における筆者の解釈として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日本語は、主語・目的語といった文法的な要素を明確化し、対象を把握していく言語である。

イ 日本語は、意味を明確にするために、「私」を常に立てながら対象を把握することが肝腎な言語である。

ウ 日本語は、話者自身を「私」として対象化せずとも、その視点から対象が把握される言語である。

エ 日本語は、「私」を意識の外に追いやるため、傍観者の立場から対象が把握されやすい言語である。

オ 日本語は、主語をあえて省略することで、自身とは異なる対象の把握が容易になる言語である。

問十 傍線部⑦「とりもなおさず」と最も近い意味の語を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 概して

イ せめて

ウ 分け隔てなく

エ かえって

オ ほかでもなく

問十一 傍線部⑧「言葉を発する『己』自身」とはどのようなものか。本文中から十五字以上二十字以内で探し、抜き出して答えなさい。



二、次の文章を読んで、後の問に答えなさい。なお、出題の都合で改行を省いたところがある。(解答は全て句読点、記号も一字に含める。)

日本語でしゃべくるのを仕事にし、つねにそのスタンバイ状態だった数日前までから一変して、言葉がどこかで堰<sup>せ</sup>き止められたような状態に身を置いている。英語は必要な分はしゃべるにはしゃべるが、まだ慣れていない。

<sup>\*1</sup>  
I'm in something like limbo of language.

<sup>a</sup> 享樂を立て直さねばならない。エンジヨイ・ユアセルフ、と自分に言う。だが、肝心のマイセルフがふわふわしている。トランプ大統領が、川の水面を滑走する青いスポーツカーに乗って、川べりに張り出した料亭に到着する。という珍妙な夢で午前六時に目が覚めた。先に料亭にいる僕らは大統領をカ<sup>b</sup>ンゲイし、Enjoy yourselfと声をかける。大統領は皮肉っぽく笑い、少し間を置いて、エンジヨイ……と応じた。

地下のダイニングへ行く。朝食の準備は始まったばかりだが、コーヒーのポットはもう置いてあるから、目覚まし代わりに一杯もらう。

その翌日は、時差ボケがマシンになった気がする。

① 感覚が変わり始めた。流れがぶつかって渦巻きになるみたいに混濁していた時間の川が、しだいに透き通り始める。

夜の十一時に眠って、朝六時に起きたところだ。夢は覚えていない。

タバコを吸いにポ<sup>\*2</sup>ーチに出ると真っ暗で、秋の虫が鳴いている。寒くはないと思う。そろそろいつも通りの仕事をしたい。途中で放り投げたある文章を編集したり、いつも通りにデスクで集中したい。すべての時間が新生活のセ<sup>\*3</sup>ットアップに費やされている。その隙間にも自分の時間を取り戻したい。そろそろ取り戻せる感じがする。時間の質が変わり始めている。

ホテルの前で車が急に止まり、その窓から新聞が敷地に投げ込まれた。

腹が減っていて、朝食をたくさん食べてしまう。それから近所にあるカフェに移り、エスプレッソを頼んだ。できあがると、赤っぽい口ひげをたくわえた店員がピースサインをして、「エンジョーイ！」と笑った。

③せみ 蟬が鳴いている。聞いたことのない鳴き声だ。ゼンマイのおもちゃのような音。ジーと長くのびて、プツツと途切れる。ボストンは寒いのかと思っていた。気温差はあるが、昼間はまだまだかなり夏だった。半袖は一枚しか持ってきてきていない。

カフェで注文したものができるとマサーヤ！と呼ばれる。奇妙な気安さ。お前誰やねんと言いたくなる。ジョージとかボブとかジェーンとか名前が少ないから、軽く他人に呼ばせても平気なのだろうか。僕は言霊ことだまを信じているのか。レジの流れ作業のなかでWhat's your name? と訊きかれることにひじょうに違和感がある。

ライシャワーは日本研究所なので、スタッフもある程度は日本的なふるまいをしてくれる。ここでは名字で呼んでもらえるから安心だ。

到着して二日後、十月三日の午前中にオリエンテーション<sup>\*4</sup>が行われた。担当者は眼鏡をかけた東アジア系の若い女性の助手さんで、少し日本語もできたが、英語で会話する。彼女と一緒に建物を出て、キャンパスを突っ切って反対側にある学生課へ行き、質問に答え、写真を撮ってIDカード<sup>\*5</sup>を作成する。帰りには保健センターの位置を確認しておく。そして研究所に戻ると、廊下の角にあるオフィスから灰色の髪をした人物が出てきた。助手さんに「ホワイトロー先生です」と告げられるやいなや、<sup>⑤</sup>焦って英語で挨拶しようとしたが、先に「千葉先生、よろしく願います」と日本語で言われ、お辞儀をされてしまった。

ギャヴィン・ホワイトロー先生は、日本のコンビニの研究をしている。日本に留学していた若い頃には、実際にコンビニでバイトをしていたそうだ。

高級感がある大学だった。空間の傲然たる余裕。ステンレスが攻撃的なまでに輝くエレベーターのドア。トイレの大  
理石風の洗面台も崇高だ。日本の大学がエコノミークラスなら、さしずめここはビジネスクラスか、と思う。

共用のキッチンには自由に使えるコーヒーマーカーがあり、冷蔵庫のミネラルウォーターや牛乳も＊6テイクフリーな  
だが、お昼時に、誰が持って来たのかチーズとフルーツの盛り合わせがカウンターに置いてあつて、勝手に食べている  
ようなので、僕に権利があるのかわからなかったが、ちよつと食べてみた。

日本ならば、ひとつコンビニがあれば、そこでこれまでの生活をすべてリセットできる、という安心感がある。人生  
で何かやらかしても大丈夫だ。c夜逃げしてどこかに流れ着いても、コンビニがすべてを再開させてくれる。すべて  
が ⑥ に流されていく日本的生の逗留地＊7とうりゅうちとしてのコンビニ。

もちろんコンビニはアメリカ発なのだし、こちらに来てセブイレブンを使ったが、日本のように何でも揃そろうわけ  
はない。何ひとつ不足がないようにと強迫的に配慮しているかのような日本のコンビニの棚には、標準化された生活の  
ミニチュアが見える。

コンビニでは、人が非人称になる。「なる」というか、非人称に「戻る」場所である。それは「清める」ような作用  
をもつ場所だとも言える。すべてがリセットされ再開される聖域としてのコンビニ。駆け込み寺のような。

僕は日本の生活のなかで、コンビニとか、和食の儀礼リチュアル的な面などから、自覚せずに「聖なるもの」を補給していたの  
だと気づく。異国に来て、それが補給できなくなっている。

僕はいま、異なる宗教の土地に来ている。というか、アメリカは宗教的な国なのだが、「聖なるもの」は感じ取りに  
くいのだ。僕にはまだそのアンテナがないのだろうか。宗教 religion と聖なるもの the sacred は異なる——dジャン ||  
リュック・ナンシーがそれを論じている『イメージの奥底で』。宗教とは結びつけるものだが——そのゴゲンdはラテ

ン語の religare である(こう説: re (再び) + ligare (結びつける) ——、聖なるものとは「分離されたもの」、「切り取られたもの」である。あるいは絶対的に隔たったもの、それが聖なるものだ。この意味で、実は聖なるものは宗教に對立する。宗教からも分離する、聖なるもの。

僕がいま何を食べたいのかといえ、聖なるものを食べたいのだ。

ハーバード大学の健康保険に入るには、メンドウなことに、アメリカの銀行の小切手\*8で支払う必要がある。小切手は日本人には馴染なじみが薄い、フランス留学の際にも小切手を使った。できるだけ早く保険に入りたいため、日本の銀行からただちに海外送金し、小切手を発行しなければならぬ。

⑦ 銀行の前に黒人の警備員がいる。IDを求められるかと思つたが、何も言われず入ることができた。重いガラスのドアを二つ開けると、天井の高いロビーにステンレスの冷蔵庫のようなデカイ塊が並んでいる。それがATM\*9だった。

窓口はない。銀行員は、奥にいくつかあるオフィスに一人一人陣取っている。フランスでもこの形式だった。日本の銀行はコンビニみたいだ。

(中略)

手続きが終わりに差し掛かると、上司とおぼしき丸々太った白人女性が、ハイイ！ハウアーユーとおどけて登場した。アメリカは初めて？と言うので、二回目ですと答えたら、ようこそお戻りで！と返される。

「彼は聞くべきことをお聞きしましたか」

と確認される。部下の業務を形式的にチェックするのが義務なのだろう。

あなた本意。How are you? もそう。Have a good day もそうだし、そう挨拶すれば、You too! と返してくる。まず相手を主語に立てるといふ感覚。「どうも」とか「すいません」とか「お疲れ様」は、一人称と二人称の区切りが曖昧

な気がする。非人称的なのかもしれない。

やはりHow are you?には慣れない。朝、すれ違って、Good Morningだけ言ひつゝ、すぐにHow are you?と言われつゝ、ギョツとしてしまった。

余計な負担を求められている感じがする。

Have a good dayと声をかけられてただちに「You too!」と返すのは、ハードルが高い。根本的にOS<sup>\*10</sup>が違う感じがする。形ばかりのこととはいえ、僕がYou too!とグツと表情筋を動かして応えるならば、何かタガが外れちゃつてる感じだ。

アメリカには、二人称がある。日本では一人称がひじょうに希薄だ。

二人称があるというのは、キリスト教と関係があるのだろうか。「隣人愛」なのだろうか。日本のほうが、その集団主義がよく言われるけれども、<sup>⑨</sup>個々はバラバラなのかもしれない。僕はそう思っていて、それが好きなのだと思う。

カフェでクシヤミをしたら<sup>\*11</sup>「bless you!」と言われた。Thank youと返さなければならぬが、はにかんでしまう。Youという異物が引つかかり続ける。

千葉雅也『アメリカ紀行』（文藝春秋）

(注) \* 1 I'm in something like limbo of language. …… 「言語がどつちつかずの状態にいる」という意味。

\* 2 ポーチ……アメリカではベランダを指す。

\* 3 セットアップ……準備。

\* 4 オリエンテーション……新しい環境に適応するためのイベント。

\* 5 IDカード……身分証明書。

\* 6 テイクフリー……自由に利用できる状態。

\* 7 逗留……旅先である期間とどまること。

\* 8 小切手……金銭を支払う際に、銀行等を通じて支払うための券。

\* 9 ATM……現金自動預け入れ支払い機。

\* 10 OS ……オペレーティング・システムの略。ここでは考え方の仕組みを指す。

\* 11 Bless you ……「お大事に」という意味。英語圏ではくしゃみをした人に対して使う習慣がある。

問一 傍線部 a、e のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で答えなさい。

問二 傍線部①「感覚が変わり始めた」とあるが、変わる前の「感覚」の説明として、適当なものを次の中からすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 言葉が堰き止められているという感覚
- イ 享樂を立て直すのが不可能だという感覚
- ウ マイセルフが落ち着いていないという感覚
- エ 時差ボケが解消されてきたという感覚
- オ 正確な時間感覚を取り戻したという感覚

問三 傍線部②「秋の虫」と傍線部③「蟬」に関する描写から、このときの筆者自身についてどのようなことが読み取れるか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 秋の虫と蟬の鳴き声を聞くことで、仕事の上ではアメリカも日本も大差はないと自信を取り戻している。
- イ 日本でも聞いていた秋の虫や蟬の鳴き声に、アメリカに到着して初めて安心感を覚えている。
- ウ 仕事に熱中できていると虫の名前に意識が向かないが、仕事を離れると虫について詳しく観察できている。
- エ 秋の虫と比べて蟬の鳴き声に強い違和感を覚えており、外界に対して筆者の心が開かれつつある。
- オ 秋の虫の名前がわからないことを恥じ、アメリカでは身近な物事にも目を向けようと決意を新たにしている。

問四 傍線部④「日本的なふるまい」の特徴を以下のように説明したとき、空欄Ⅰ・Ⅱに入る語句を、空欄Ⅰは六字、空欄Ⅱは三字でそれぞれ本文中から探し、抜き出して答えなさい。

日本的なふるまいには Ⅰ がなく、Ⅱ な面がある。

問五 傍線部⑤「焦って英語で挨拶しようとしたが、先に『千葉先生、よろしくお願いします』と日本語で言われ、お辞儀をされてしまった」とあるが、このときの筆者の心情はどのようなものか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 予想外に日本語が通じることへの安心感
- イ 英語での挨拶を準備したことへの気恥ずかしさ
- ウ 相手よりも先に挨拶できなかったことへの後悔
- エ 日本語が世界に広まっていることへの興奮
- オ 自分の歩み寄りを無駄にされたことへの怒り

問六 空欄⑥に入る漢字一字を答えなさい。



問七 傍線部⑦「銀行」について、以下のように説明した。空欄Ⅰ・Ⅱに入る語句を、あとの語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

アメリカの銀行と異なり、筆者は日本の銀行を **Ⅰ** のような場所だと考えている。このことは、従業員の配置や窓口の有無といった仕組みの違いだけでなく、建物や設備などの空間の描写からも読み取ることができる。ガラスの扉の重厚感やATMに対する「デカイ塊」という表現は、筆者がアメリカの空間から、単純な大きさだけでなく **Ⅱ** 様子を感じ取っていることの証でもある。

- |    |         |         |        |        |        |
|----|---------|---------|--------|--------|--------|
| I  | ア 料亭    | イ ホテル   | ウ カフェ  | エ コンビニ | オ オフィス |
| II | ア 傲然とした | イ 皮肉っぽい | ウ 強迫的な | エ 宗教的な | オ 曖昧な  |

問八 傍線部⑧「タガが外れちゃってる」の意味として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 抑制がなくなる

イ 規則を破る

ウ 国籍を問わない

エ 理想が崩れる

オ 周囲に合わせない

問九 傍線部⑨「個々はバラバラなのかもしれない」とあるが、この理由が日本語の特徴にあると考えた場合、その特徴は何か。解答欄に合うように、本文中から十二字で探し、抜き出して答えなさい。

問十 本文からは次の一文が脱落している。この一文が入る箇所を探し、その直前の五字を抜き出して答えなさい。

これは日本語にはない。

問十一 筆者にとってのコンビニを以下のように説明したとき、空欄Ⅰ～Ⅲに入る語句を、空欄Ⅰは三字、空欄Ⅱは二字、空欄Ⅲは十四字でそれぞれ本文中から探し、抜き出して答えなさい。

筆者にとって日本のコンビニは、Ⅰ になれる Ⅱ のような場所である。なぜなら、そこには Ⅲ が  
あるため、すべてをリセットし再開できるからである。

